

流域思考で生きのびる



～治水、土石流防災と自然保護～

鶴見川流域の魅力と自然を知り、

都市開発と自然保護、治水の関係を流域全体で考えます

令和7年12月6日(土) 13:30~15:30 (開場 12:45)

会場：緑公会堂（緑区寺山町118）（申込不要・入場無料）



講師 岸 由二氏

(慶應義塾大学名誉教授・理学博士)



長年鶴見川流域の治水に携わり、支流を含む流域で治水を考える「流域思考」を提唱、総合治水の第一人者

ライフワークとして、流域思考による多自然・防災都市づくりの理論構築と実践を進める。

NPO法人鶴見川流域ネットワーキング、小網代野外活動調整会議、鶴見川源流ネットワーク代表

- ◆先着300人に
ハマカンゾウの種プレゼント
- ◆抽選で30人に
ノカンゾウの苗プレゼント

他に緑区の花・鳥の缶バッジ
プレゼントもあるよ！



同時開催

自然保護活動団体の活動紹介のパネルをホワイエで展示します。

【問合せ先】

緑区市民活動支援センター「みどりーむ」

TEL:045-938-0631

e-mail: md-shiencenter@city.yokohama.lg.jp



みどりーむ HP

【花さく鶴見川 Hana カンゾウプロジェクト】
外来種で花粉症の原因でもあるネズミホソムギなどを刈り、花カンゾウ（ヤブカンゾウ・ノカンゾウ・ハマカンゾウ）を植え、多様な生き物がくらすビオトープへと変えます。

(NPO法人鶴見川流域ネットワーキング)

鶴見川河川敷のノカンゾウ(JR鴨居駅周辺)

緑区キャラクター
「ミドリン」